

2006 年度

科目名 学校教育学特別演習	対象学科・学年 専攻科教福(専)1 回生	担当者 西川 信廣
授業テーマ 学校教育の実際を研究対象とし、理論と実践とを融合させる授業をめざす。		
授業の概要と目標 授業の目標は小・中学校での観察、参加、指導から得た知見を一般化、抽象化することにある。受講生の可能な時間で学校現場に出向き、指導経験を積む。そこから実践的な指導力を育成し、理論研究能力も同時に育成する事を期待する。		
評価方法 授業への取り組みの関心、意欲、態度を重視する。レポートを中心に平常点の評価となる。		
テキスト 使用しない	著者	出版社
参考書 使用しない	著者	出版社
授業スケジュール・内容 授業は概ね以下のような内容になる。 1 回目：子どもの学力の実態（講義）・・・PISA 調査等をもとに子どもの学力の現状と課題を講義する 2 回目：学校教育病理の実態（講義）・・・いじめ、不登校等々の病理現象の現状と課題を講義する 3 回目：学校現場での観察体験 1・・・連携・協力校での観察体験を行う 4 回目：学校現場での観察 2・・・連携・協力校での観察体験を行う 5 回目：学校現場での授業・部活支援 1・・・連携・協力校で授業・部活支援を行う 6 回目：学校現場での授業・部活支援 2・・・連携・協力校で授業・部活支援を行う 7 回目：学校体験をもとにレポート報告と討議 1・・・参加した学生のレポートで討議を行う 8 回目：学校体験をもとにレポート報告と討議 2・・・参加した学生のレポートで討議を行う 9 回目：学校体験をもとにレポート報告と討議 3・・・参加した学生のレポートで討議を行う 10 回目：学校現場での授業支援 1・・・連携・協力校で授業支援を行う 11 回目：学校現場での授業支援 2・・・連携・協力校で授業支援を行う 12 回目：学校教育の現状と課題 1（講義）・・・学生の活動を踏まえ学校教育の現状と課題について講義する 13 回目：学校教育の現状と課題 2(講義)・・・学生の活動を踏まえ学校教育の現状と課題について講義する 14 回目：教育改革の動向と教師 1（講義）・・・現在展開されつつある教育改革と教師の果たすべき役割について講義する 15 回目：教育改革の動向と教師 2（講義）・・・大阪府下のいくつかの市を取り上げ教育改革の実態を概説する		